

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。
謹白



項目名

● Y染色体微小欠失検査 (AZF欠失) (依頼コード No.13730)

受託開始日 2022年6月1日(水) ご依頼分より

男性不妊の原因のひとつとして、Y染色体上の無精子症因子(azoospermia factor: AZF)領域の微小欠失が知られており、その欠失は主にAZFa、AZFbおよびAZFcに生じ、欠失する領域によって症状が異なります。

Y染色体の構造異常または微小欠失がどのAZF領域に起きているかを検査することは、補助生殖医療のために精子を採取できる可能性を判断し、精巣内精子採取術(TESE)の適応を検討する上で有用です。

本検査では、21種類のSTS(sequence tagged-site)マーカーを用いてY染色体の微小欠失の有無を判定します。

- 当該検査の受託開始に伴い、現行の研究検査：Y染色体微小欠失解析(依頼コードNo.12142)は2022年7月30日(土)ご依頼分をもちまして検査受託を中止させていただきます。

裏面に続きます

受託要領

依頼コードNo.	13730
検査項目名	Y染色体微小欠失検査
統一コード	8C896-9935-019-898
検体必要量	血液 2.0mL
容器	B-30(遺伝子解析用)
検体の保存方法	冷蔵、開封厳禁
所要日数	7~20
検査方法	PCR-rSSO法
基準値	なし
単位	なし
報告範囲 (報告形式)	<p>【親展報告】【別紙報告】 欠失なし、欠失14パターン*</p> <hr/> <p>*欠失14パターンは以下のとおりです。 「AZFa欠失」、「AZFb欠失(P5/proximal P1)」、 「AZFb+c欠失(P5/distal P1)」、「AZFc欠失(b2/b4)」、 「Y染色体欠失」、「Y染色体長腕欠失」、 「Y染色体長腕部分欠失I」、「Y染色体長腕部分欠失II」、 「Y染色体長腕部分欠失III」、「Y染色体長腕部分欠失IV」、 「Y染色体長腕部分欠失V」、「Y染色体長腕部分欠失VI」、 AZFc部分欠失(gr/gr)、判定不能</p>
報告桁数	なし
検査実施料/判断料	<p>3770点/100点(遺伝子関連・染色体検査)</p> <hr/> <p>Y染色体微小欠失検査は、不妊症の患者であって、生殖補助医療を実施しているものに対して、PCR-rSSO法により、精巣内精子採取術の適応の判断を目的として実施した場合に、患者1人につき1回に限り算定する。 なお、本検査を実施する医学的な理由を診療録に記載する。</p>
備考	<p>倫理指針項目 匿名化依頼書を使用してください。</p>

【検査方法の参考文献】

Eitetsu Koh et al.: J Mamm Ova Res 30(4), 135-144, 2013.

Masashi Iijima et al.: Int J Urol 21, 910-916, 2014.